

常任委員会クローズアップ 民生常任委員会の活動

～防災行政無線を調査～



戸別受信機
(足寄町で採用した受信機)

所管事務調査（8月22日） 防災環境課から説明を受けました

町ではホームページや登録制メール、広報車等で災害情報を発信してきましたが、3年前の台風災害や昨年のブラックアウトでは「携帯電話の電源（バッテリー）が切れ情報を得る手段がない」、「室内で広報車の放送は聞こえない」などの声があり、新たな情報伝達の手段が課題となっていました。

必要な機能を備え、費用を抑えた手段について検討を重ね、令和2年度から260MHzの防災無線を整備する予定です。

◆町の説明についての質疑（抜粋）

Q：戸別受信機は電池式か。

A：電源コード式、単3電池も使用可能。

Q：戸別受信機の全戸配布は必要か。整備費用の財源について説明を。

A：希望世帯への無償貸与を予定。財源は緊急防災・減災事業債（全額起債可能で7割の交付税措置）を予定。今後は、戸別受信機の種類、配備方法、屋外拡声器の設置数、行政情報の発信など具体的な検討を進めたい。



役場3階会議室での質疑応答

前号（197号）から、新たに各常任委員会にスポットを当てて紹介するコーナーを設けました。

幕別町議会では3つの常任委員会がそれぞれに所管する「まちの各種事務」について調査・研究・審査などを行います。

民生常任委員会の所管項目は、福祉・町民活動・防災・交通・環境など幅広いですが、今回は『防災行政無線』についての調査を紹介します。

先進地視察（10月10日） 足寄町を視察調査しました

防災行政無線の整備を行った足寄町を訪問しました。寺林議長と町防災担当職員も同行して説明を受け、足寄町役場の放送防災無線室や親局を見学しました。

◆足寄町での質疑（抜粋）

Q：戸別受信機の住民への配布方法は。

A：各地域で住民説明会を開き、希望者にはその場で申請いただき無償貸与する。福祉的な支援が必要な世帯は、個別対応で届けている。



足寄町
放送防災無線室

◎視察後の所感

防災行政無線は、全ての町民にいち早く、確実に情報を伝える手段として有効と理解しました。戸別受信機は屋外拡声器から遠かったり、雨風の音で聞こえないといった課題を解消し、有事のときにはスイッチが入っていなくても大きな音量で町からの情報が流れ、録音機能であとから確認することもできます。

町民の生命と財産を守るため、今後も実効性のある運用となるよう調査します。



足寄町役場
屋外設置の親局

編集後記

月日が経つのは早いもので、元号が令和となって9か月が過ぎました。

日頃から町議会へのご理解を賜り誠にありがとうございます。日々の議員活動において、皆さまに支えられていることに心から感謝をいたします。

昨年11月の「議会報告会 and 懇談会」でいただいた、ご意見・ご要望を真摯に受け止め、今後の議会活動に生かしてまいります。また、分かりやすく親しみやすい「議会だより」の編集に努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

岡本眞利子

議会広報広聴委員会

委員長 内山美穂子	副委員長 荒 貴賀	
委員 石川康弘	小田新紀	小島智恵
岡本眞利子	酒井はやみ	小川純文
		若山和幸

表紙写真募集

議会だよりNo.199号（6月1日発行）の表紙写真を募集しています。写真のテーマは「**十勝の春**」です。

応募は、議会事務局へのメール（左下QRコード）等によりご応募ください。締切は、令和2年5月11日（月）です。

詳しくは、議会ホームページ（右下QRコード）をご覧ください。

ホームページからは、議会中継、議会だよりのバックナンバーなどをご覧ください。



議会メールアドレス



議会ホームページ